

2019 日消連 第 26 号

2020 年 3 月 31 日

株式会社ローソン

代表取締役社長 竹増貞信様

特定非営利活動法人 日本消費者連盟

共同代表 天笠啓佑

共同代表 大野和興

7 月 1 日以降のレジ袋対応について公開質問書

私たちは、いのちや健康を何よりも大切にする社会をめざして活動している消費者団体です。

報道によりますと、御社は本年 7 月 1 日よりレジ袋をバイオマス素材 30%配合のものに変更した上で、有償で提供するとのことでした。私たちもレジ袋を大幅に削減するため、禁止あるいは 20 円以上での有償提供が望ましいと考えておりますので、御社の有料化の決定を一步前進と受け止めています。

つきましては、下記の通り質問いたしますので、回答を 4 月 10 日までに、日本消費者連盟事務所までご返信くださいますようお願いいたします。

記

1. バイオマスを 30%配合したレジ袋に変更するとのことですが、バイオマスプラスチックが必ずしも持続可能であるとは限りません。とりわけサトウキビやトウモロコシを利用した場合、森林破壊や遺伝子組み換え、食料との競合などの問題が生じます。また、散乱した場合、マイクロプラスチック化します。そのため、マイクロプラスチックそのものを減らすには、レジ袋使用量そのものをできるだけ低く抑える必要があります、それには価格設定が重要だと考えています。レジ袋の価格を教えてください。

2. 有料化後の御社のレジ袋辞退率目標（あるいは削減率目標）を教えてください。

3. プラスチック製レジ袋に代えて、再生紙製の紙袋を有償提供することについて、何かお考えがあればお聞かせください。

問い合わせ先：日本消費者連盟 杉浦 陽子
〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 1-9-19-207
Tel：03-5155-4765 Fax：03-5155-4767
Mail：sugiura@nishoren.org